

Title	戦略としての大型合併 - 金融業界における戦略の策定・合併プロセスとその成果について -
Sub Title	
Author	下里 朋子(Shimozato, Tomoko) 小林 喜一郎
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1999
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1999年度経営学 第1510号 連絡が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001999-1510

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

所属ゼミ	小林 研究会	学籍番号	89828404	氏名	下里 朋子
(論文題名)					
<h2>戦略としての大型合併</h2> <p>- 金融業界における戦略の策定・合併プロセスとその成果について -</p>					
(内容の要旨)					
<p>本論文の目的は、以下の問題点を明確化することである。</p> <p>戦略によって大型合併がもたらす成果に違いはあるのか 戦略を構成する個別の要素はどのように大型合併の成果に影響を与えるのか</p> <p>本論文では、上記問題点を明らかにするために企業の行動プロセスに焦点をあて、分析フレームワークを構築した。フレームワークは主に、戦略の識別と選択、戦略の選択、戦略の実行プロセスという3つの要素によって構成される。また、フレームワークをもとに仮説を構築し、1990年代における米国金融業界の大型合併をサンプルとして用い、実証分析および事例分析を行った。その結果、個別の仮説については以下の事が明らかになった。</p> <p>実証分析、事例分析の両方において検証された結果</p> <ul style="list-style-type: none"> • 事前にしっかりした計画がなされた合併の方が、なされていない合併よりも成果は良くなる • 対等な合併であるほど成果は良くなる • 被買収企業の将来への期待が大きいほど成果は良くなる <p>事例分析において確認された結果</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地域拡大型合併は正の成果をもたらすが、商品・サービス補完型合併および規模拡大型合併はそのかぎりでない • スムーズな合併プロセスであるほど成果は良くなる • 一貫した合併プロセスであるほど成果は良くなる <p>結果的に、合併決定前の戦略の識別と選択、合併決定時の戦略の選択、そして合併のプロセスマネジメントという3つの要素によって、総合的な合併の成果が異なることが明らかになった。</p>					